

自然体験イベント事故情報

事故名	指の付け根をハチに刺される	被災者	年齢 60歳台	性別 女性
事故状況	発生日時 平成26年6月14日			
	発生場所 公園			
	<p>事故状況 (何をして、どのように、どうなった)</p> <p>観察会で本人が低木の植え込みに近づいたところ、ハチに指の付け根付近を刺されたとの申し出があった。 周辺をスタッフ全員で探し、キアシナガバチ? 1頭を捕獲したが、巣は発見できず。本人以外は刺されたところを目撃していないため、事故時の詳しい様子ははっきりしない</p>			
事故処置	<p>誰が、どのように処置</p> <p>報告者が見たところ刺し傷ではなく切り傷のようにも見たが、本人の申し出どおり、刺されたという部位から体液を押し出し、流水で洗い、氷で冷やした。 本人は痛みもあまりなかったためか、その後も観察会に参加し、変わりはない。終了時点でも本人から異常がある報告はなかった。後日、確認の電話をしたところ、翌日少し腫れたが、すぐに収まったとの報告を受けた。.....</p>			
	<p>ケガの部位・症状</p> <p>掌の左手親指付け根、虫刺され?</p>			
	<p>推定原因と再発防止策は</p> <p>原因は、ハチに気づかず、不用意に近づいたためと思われる。 再発防止策としては、観察会の開始時に、ハチに不用意に近づかないことの周知徹底を行う。 また、ハチに刺された時の対処法について、スタッフ全員に周知する。</p>			
総務部コメント	<p>上欄の推定原因と再発防止策に同じです。ハチに刺された時の対処法は、リスクマネジメント研修会テキスト「危険生物(指導者版) 著者:佐藤仁志氏」6ページを参照ください。次のとおりとなっています。</p> <p>① 冷たい流水で患部を洗いだしながら毒を血液と一緒に絞り出す。この時専用の絞り器があると便利。②痛みや腫れは水や保冷剤で冷やす。③市販の抗ヒスタミン剤を含んだステロイド軟膏を塗る。④気分が悪くなったり息苦しくなったりした場合はショック症状の前兆の可能性が高い。すぐに病院に行き治療を受ける。</p>			